

七月五日土曜日、天候は晴れ。川之江市出身の利用者の方、高橋道夫さん・林政春さん・加地ヤスエさんとスタッフ三名で三恵ホームを午前十時に出発!!

川内インターから入り、遠くまで見える景色の美しさを見ながら、家族の方に会えるのを心待ちにして、うれしそうな顔にあふれていました。

高橋さん。ここへ入園されて十年目になります。一度も故郷に帰ったことがなく「帰りたい、帰ってお墓参りがしたい」という希望でこの企画が成立しました。

川之江駅についてみると、兄夫婦が迎えに来てくれていました。家についてみて、きつと懐かしい思い出が甦ったのではないかと思います。



親戚の皆さんと会い、大好きないなり寿しを食べました。

言葉の少ない高橋さんではありませんが、笑顔がとても印象的でした。
※メロンごちそう様でした。



好物のお寿しとおさしみ、そして煮物を食べ満足そうな顔でした。

林さん。姉妹からは時々電話もあつたり、年に一回は帰省もしていますね。それでも、何回帰省してもうれいものです。今回は「川之江荘のお母さんに面会したい」との希望です。

ふるさと訪問

パートII

川之江編

加地さん。入園されて十五年目になりましたが、彼女のかねてからの希望であった「大好きなお姉さんと、弟に会いたい」がやっ

と叶いました。そして一ヶ月前に白内障の手術をして目がよく見える様になったこと



を報告しました。駅前の食堂で、大好きな「うどん」を食べながら話をいっぱいしましたね。その内に話がエスカレートし弟さんに「なに!」と言いつつながら加地さんが背中を叩くのでパランスを失い一段高い所から下へ転がってしまったり……。

訪問が済んで、三恵ホームがだんたん近づくとつれ、なぜか涙がほろりとあふれてきて、見ているスタッフの方が「ドキッ」としてしまいました。

三人共、希望が叶って川之江市に行き、長い時間の離床と慣れない事で、大変疲れたとは思いますが、それぞれの家族に会い暖かく出迎えられ、有意義な時間を過ごしました。

炎天の

故郷に来たり

車椅子

